

理学部後援会の皆様

11月5日(土)、平成23年度理学部後援会理事会ならびに秋季懇談会が開催されました。天候にも恵まれ、100人を越える方々のご参加をいただきました。大学祭の期間中であったため、サイエンスプロムナードや水族館などで、他学部とは一味違う学生・院生の課外活動をご覧いただけたことと思います。

理事会・懇談会の報告は別途掲載のとおりです。

午前中開催された理事会では、特に、新たに創設される「理学部後援会賞」について活発に議論がなされました。学業成績優秀者を表彰する「理学部長賞」とは別に、学生の課外活動を評価し表彰するものです。年度毎に、学業と両立させて優れた課外活動を行った学生の推薦を各コースから受け、6月の総会で表彰式を行うことになりました。課外活動を行う学生の励みになるものと、期待しております。

午後の懇談会におきましては、6月の総会でご承認いただいた非常用備蓄物資の購入や東日本大震災以降の理学部の安全対策についてご説明いたしました。今後とも、後援会員の皆様と共に、学生の安全のために、対策を進めてまいります。皆さまの温かいご支援を大変心強く思っております。

懇談会の後、生物学科の遠藤剛教授による「人体にかかわる筋肉の収縮構造のしくみを解き明かす」と題する講演がありました。筋肉研究の最先端を平易な言葉でお話しいただきましたので、お楽しみ頂けたのではないかと思います。

講演会のあとは各学科に分れて学科別の懇談会、引き続き会場を生協カフェテリアに移し、全体での懇親会が行なわれましたが、ご出席の皆さまと個々の教員との間で、就職・進学をはじめご子弟の教育のあり方や日常生活について、貴重な意見交換を行うことができました。

日本の国自体が数々の困難を抱えているところではございますが、しっかりと教育・研究を進めていきたいと考えておりますので、よろしく願い致します。

平成23年11月

理学部長  
大橋 一世